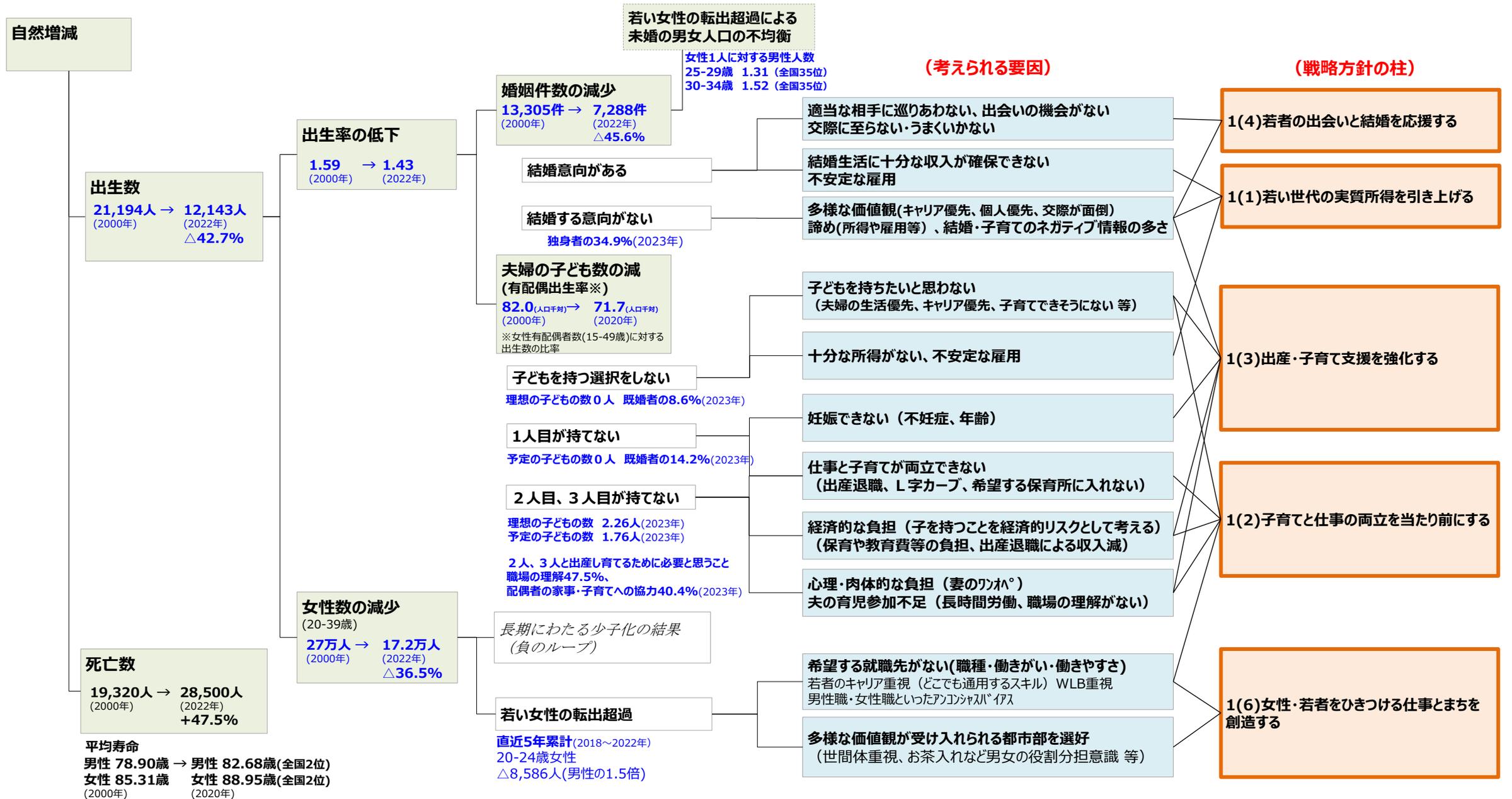


ロジックツリー (少子化・人口減少対策)

結婚・出産・子育てに関する環境の改善と若者の社会増の実現により、少子化傾向を反転させる



ロジックツリー（少子化・人口減少対策）

結婚・出産・子育てに関する環境の改善と若者の社会増の実現により、少子化傾向を反転させる



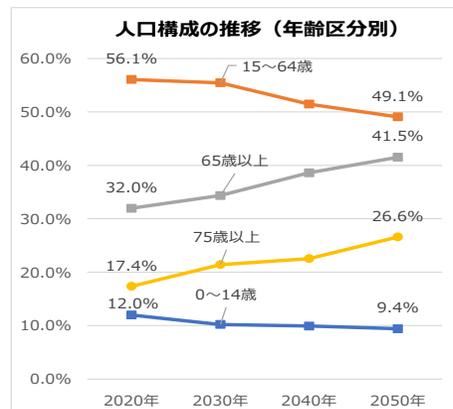
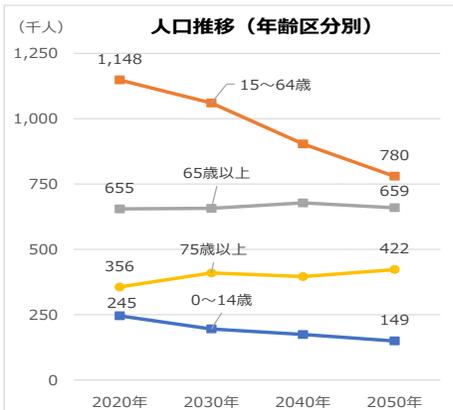
人口急減局面においても、人材を確保し、社会経済の活力を向上させる

（戦略方針の柱）

総人口の減少

総人口
204.8万人 → 158.8万人
(2020年) (2050年)
△22.5%

65歳以上人口
65.5万人 → 65.9万人
(2020年) (2050年)
+0.4%



現役世代の急減少による 担い手不足

15-64歳人口（生産年齢人口）
114.8万人 → 78.0万人
(2020年) (2050年)
△32.1%

20-74歳人口
135.3万人 → 96.0万人
(2020年) (2050年)
△29.0%

（労働供給の量・質の確保）

就業率（15歳以上人口に占める就業者数の割合）
62.2% 全国12位（2022年）

女性の有業率
54.9% 全国5位（2022年）

出産・育児のために過去5年に前職を離職した女性割合
7.5%（全国9位、全国は6.3%）（2022年）

高齢者の有業率（65歳以上人口）
30.2% 全国3位（2022年）

県内在住の外国人労働者
3.0万人 → 3.8万人 +21.8%
(2013年) (2022年)

（労働需要の抑制）

（経済構造の質的な強化）

人口規模にふさわしい 社会システムを構築する

様々な人の労働参加を促進
（高齢者、女性、障がい者等）

一人多役、副業・兼業、
ショートタイムワーク等

企業と求職者のマッチング

外国人材の活躍

D X、ロボット化 等による省力化

生産性の向上

適切な価格転嫁と賃金上昇

ゼロカーボンの加速化

地域内経済循環の促進

公共インフラ（水道、消防、etc）

まちづくり（コンパクトシティ、空き家）

公共交通

医療・介護

行政サービス

2 (1)働きたい全ての県民の就労を支援する

2 (2)重点支援分野ごとに人材確保策を強化する

2 (4)外国人が暮らしやすい・働きやすい環境をつくる

2 (3)産業や暮らしでのデジタル化、ロボット化を徹底的に推進する

2 (5)強靱で健全な経済構造へ転換する

2 (6)人口規模にふさわしい社会システムを構築する